

石川佳子さん(28歳・主婦)と恭兵くん(3歳)

367
億
円

豊かなまちへ

58
年度
予算

新しい年度に向けて、市はどんな計画を持っているでしょうか。市議会の3月定例会に市長の施政方針と58年度予算案が提案されたそうですね。

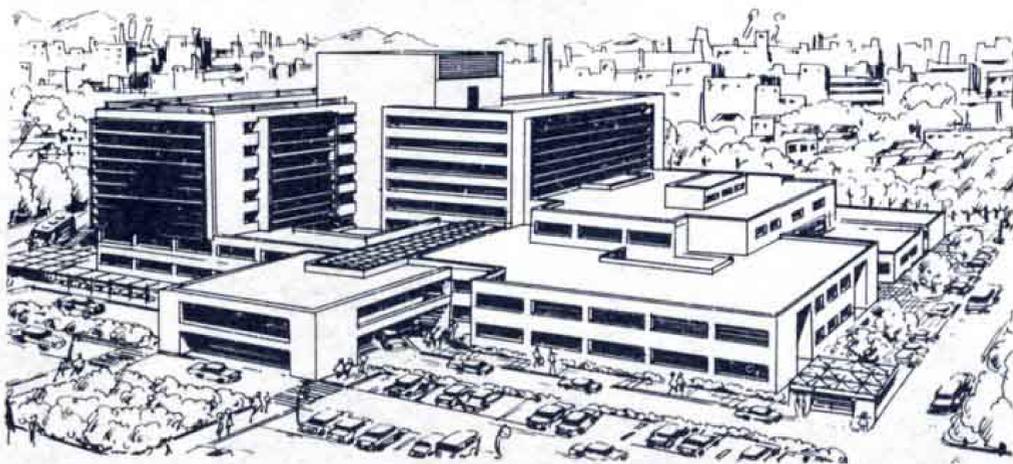
私たち市民生活と直接関係のあることですから、市議会を傍聴すればよいのですが、なかなかそれもできません。それで、内容をわかりやすく教えてもらえませんか。(大淵1丁目 石川佳子)

……というわけで新年度の主な計画をイラストでお知らせします……



いのちと健康を守るために

83億
5,025万円



新市立病院の建設と医療機器に46億6,667万円

- 保健・医療 65億720万円
- 救急 9,997万円
- 公害防止 2,975万円
- 交通事故防止 1億7,253万円
- 火災防止 2億5,645万円
- 災害防止 12億6,023万円
- 災害復旧 2,409万円



公害防止に2,975万円

私は、市民参加による市民生活最優先のまちづくりを基本として常に市政運営にあたっています。

新年度を迎え、市民の誰もがここに住み、働き、憩うことを喜びとする人間尊重のまち「生産と生活が調和する産業文化都市」の建設にむけて、一層努力していく決意です。

ゆとり・生きがい・

昭和58年度施政



心のかよう福祉と文化の風土づくり

人間的な住みよい快適なまちは、市民と行政がともに作りあげていくことが必要です。

ことに人口の高齢化がすすむなかで、その対応は重要な課題です。このため、高齢化社会における環境整備のあり方に視点をおき、高齢者の生活、健康、福祉、生きがい、社会参加や、地域での取り組みも含めた具体的対応を考えていきます。

芽ばえ、育ちつつあるボランティア活動やコミュニティ活動を助長すると共に、福祉施策の充実、障害者福祉のまちづくりのための事業を推進し、心のかよう福祉の風土を大きく育てていきたいと考えています。

一方、経済の時代から文化の時代へという大きな流れのなかで、地域



昨年の福祉まつり



新年度の方針を語る
渡辺富士市長

福祉と豊かな文化を 方針の要旨



の伝統や特性に目が向けられはじめ個性や魅力のある地域社会を市民自らの力で築きあげていこうという市民運動が活発にすすめられています。

富士市をきれいにする市民運動もその輪を広げていますし、富士市民憲章制定市民会議を中心に、市民による手づくりの憲章づくりがすすめられています。

また、新年度は美しい都市景観を目指し、中央公園に隣接する臨港富士線交差点の歩道に「街なみの憩」の場を新設します。

また、潤井川への新しい橋は市街地を結ぶ象徴的な美しい大橋として完成を迎えますが、こうした富士市にふさわしい文化的な都市美を図るよう、これからも公共施設へ文化の香りづけを行い、文化の風土づくりに努めていきます。



第9合唱の練習風景

快適で住みよい 豊かなまちをつくるため

92億
3,919万円

- 住宅 5億370万円
- 一般市道 13億3,702万円
- 都市計画 10億1,941万円
- 土地区画
 整理事業 15億6,572万円
- 上水道 6億6,521万円
- 下水道 20億6,180万円
- 清掃 9億1,013万円
- 火葬場 2億8,900万円
- 公園緑地 7億9,116万円
- みどりと自然 9,558万円



市道整備に10億円



上水道施設整備に4億1,000万円



ごみ処理施設整備に6億6,000万円

中央公園に5,000万円



市民1人あたりの換算額

市民1人あたり
に使われるお金

172,956円

- 土 木 費…39,120円
- 教 育 費…29,002円
- 民 生 費…25,493円
- 総 務 費…16,805円
- 公 債 費…13,747円
- そ の 他…48,789円

市民1人が
負担するお金

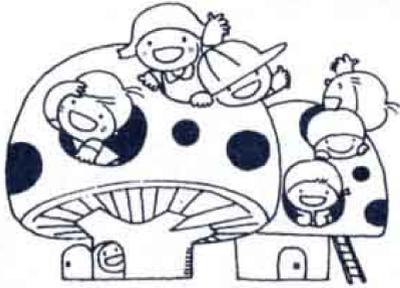
108,242円

- 市 民 税…48,308円
- 固 定 資 産 税…38,836円
- 電 気 ・ ガ ス 税…10,805円
- 都 市 計 画 税…5,817円
- た ば こ 消 費 税…3,881円
- そ の 他…595円

(人口は58年3月1日現在)



教育や文化の水準を高めるために 40億 2,689万円



幼稚園就園奨励費補助に
1億2,466万円(対象児3,208人)

- 幼児教育 3億140万円
- 義務教育 29億2,811万円
- 特殊教育 154万円
- 高次教育 1億9,070万円
- 社会教育 4億350万円
- 社会体育 2,090万円
- 芸術文化 1億8,073万円



公民館新設事業に3億1,699万円
(丘・天間地区2館)



(仮称)総合文化会館建設基金
積立に6,627万円

学校用地取得造成事業に15億7,425万円
(仮称岩松第2小など6校分)



豊かき市民の生活を支える産業経済の振興を期すため 19億 8,520万円

- 商業 5億400万円
- 工業 3億3,590万円
- 農業 8億9,999万円
- 林業 2億4,479万円
- 漁業 50万円



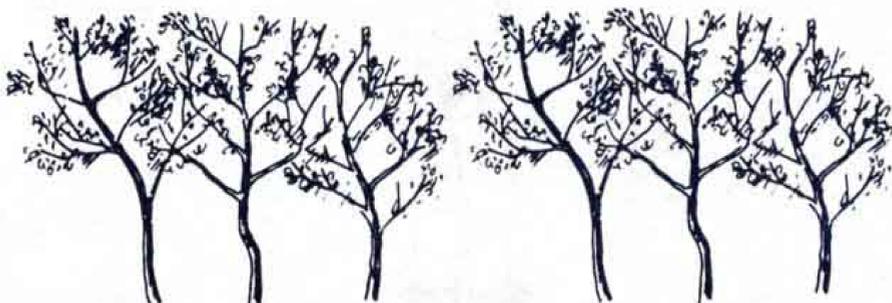
商業金融対策に5億100万円



公害防除施設融資事業に2,535万円



水田利用再編対策事業補助に1,360万円



林業構造改善事業に1億2,300万円

活力ある産業文化都市の基盤づくり



地場産業をとりまく環境は一段と厳しさを加えています。工業立市の私たちのまちにとって、産業経済の振興は市民生活に深いかかわりのある問題ですから、引き続き地域産業の振興を図っていきます。

なかでも、これからの将来を考え活力ある産業文化都市の基盤づくりに向け、東海道新幹線富士駅の設置促進の運動を強力に行います。

新幹線は、今や住民の日常生活にまた地域の産業経済活動はもとより教育文化の交流などへの影響は大きく、富士市をはじめ富士地区、庵原地区さらに山梨県や西伊豆地区にとって、今後の飛躍発展を期するためには欠くことの出来ない課題です。

この誘致運動は、関係3市20町4村で東海道新幹線富士駅設置促進期成同盟会を結成し、圏域72万住民の期待を背景にした、容易ならざる大事業に取り組むこととなります。富士市百年の大計に思いをめぐらし、議員をはじめ市民の皆様の理解と協力をいただきつつ、実現に向けて努力します。



行財政事務の刷新合理化



厳しい財政的な制約のなかで、ますます多様化、高度化する行政への市民の要望に真にこたえていくためには、全職員が創意と工夫をこらし、効率化、能率化への努力が極めて重要な要素となるものと考えます。

このため、「富士市行財政刷新合理化推進本部」をつくって、職場からの事務事業の見直し改善を積み上げながら、行財政刷新合理化運動を図ってきました。新年度はこれまでの改革案を実施に移します。

その主なものは、まず、職員総数を新病院への増員要員を除き、58年度を初年度に向こう5カ年間に5%減らすこと、初任給基準や特殊勤務手当等の給与制度の見直し等です。

次に業務の委託化については、公共性が損われないこと、行政責任と市民サービスが確保されること、経済性が発揮されることを基本として新年度は総合運動公園の各スポーツ施設をはじめ、富士体育館や厚原スポーツ公園等の各施設の業務を富士市振興協会に委託します。

今後はさらに、公園の清掃等の業務や文化施設についても、業務の委託化を検討していきます。

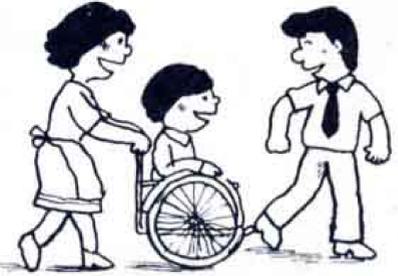
また、組織の合理化、簡素化を図るため、課・係の統合整理を行うと共に、職員の流動体制によって、業務の効率化を促進するため、機構の一部を改革します。

一方、住民情報オンラインシステムが、8月から市民課総合窓口で開始され、税関係諸証明の作成交付事務も9月を目標にオンライン処理を行い、窓口での待時間の短縮と事務能率の大幅な改善を図ります。

こどもや老人等の生活を守るために

65億
3,470万円

- こどもと母親 12億865万円
- 老人 36億7,863万円
- 心身障害者 5億2,826万円
- 低所得者 6億3,330万円
- 勤労者 5,564万円
- 消費者 4億3,020万円



障害者福祉都市推進事業に2,651万円



児童手当支給に2億8,770万円



生活保護に6億1,100万円



勤労者進学資金融資に3,000万円
(融資枠1億2,000万円)



老人保健医療事業に30億円(特別会計)
(70歳以上10,300人、ねたきり老人65歳以上200人)

